



平成23年
玉川村の災害記録

平成23年 玉川村の災害記録

3月11日 東日本大震災
9月21・22日 台風15号災



平成25年9月

目 次

◆ 震災ドキュメント	2
------------	---

東北地方太平洋沖地震による被害

1. 人的被害	4
2. 住宅の被害	4
3. 村道の被害	6
4. 上下水道の被害	8
5. 学校等の被害	14
6. 福祉施設の被害	38
7. 公園・公民館等の被害	46
8. 農地・農業関係施設の被害	48
9. 避難・救援の状況	49
10. 災害見舞金の支給	53
◆ 放射性物質への対応	55

台風15号による被害

1. 降水量	59
2. 家屋の被害	59
3. 農地の被害	59
4. 学校等の被害	65

資料編

◆ 東日本大震災の記録（福島県）	66
◆ 東日本大震災の記録（全国）	68

震災ドキュメント

●平成23年3月11日 東日本大震災 発災

3月11日午後2時46分ごろ、三陸沖を震源に国内観測史上最大マグニチュード9.0の大地震が発生し、津波や火災などで太平洋沿岸を中心に多数の死者や負傷者、行方不明者が出て、大きな被害を受けました。

玉川村でも、震度6弱(5.5)を観測、その後も繰り返し発生する余震などにより、家屋の一部倒壊や屋根瓦、塀などの崩落が村内各所で起こり、道路も路面に亀裂が走り、県道や村道などが通行止めとなり、電気も一時停電、電話も繋がらない状態が続き、水道も広範囲な水道管破裂により数日間にわたり村内各地区で給水が停止されました。

村では、地震直後に石森村長を本部長とし、役場内に災害対策本部を設置して、全力を挙げて、被災者の救援やライフラインの復旧、情報収集を行いました。

地震による人的な被害は、避難する際に転倒するなど、村で把握しているケガ人は3名、村の公共施設に自主避難した村民は40名に上りました。

また、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故による放射性物質の拡散により教育関係においても影響を受け、村内全ての保育所や幼稚園、小学校や中学校が3月末まで休校となり、幼稚園の卒園式や小学校の卒業式がそれぞれ延期して行われました。

更に、毎年4月3日に開催されていた南須釜の念仏踊りや川辺小学校伝統の旗持ち入学も地震や原発事故の影響で中止となりました。

●東日本大震災発災後20日間の記録

日	時	主なできごと
3月11日	14:46	三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の大地震が発生する。
	15:15	玉川村災害対策本部を設置する。
	15:20	消防団、村職員により村内を巡回し、被災者や被災箇所の調査を始める。
	16:24	学校関係で人的被害がないことを確認する。
	19:00	村ふれあいセンターに自主避難者を誘導する。
	【地震発生直後から防災無線により、随時注意点や余震への警戒などを呼びかける。】	
3月12日	9:00	村内の各会社の設備被害調査を始める。
	15:36	福島第一原子力発電所の1号機建屋で水素爆発が発生、建屋が損壊し、避難指示が半径20km圏内に拡大される。
	20:00	ふれあいセンターへの自主避難者が35名となる。
3月13日	13:30	行政区長会議を開催し、情報交換を行う。
3月14日	11:01	福島第一原子力発電所の3号機の建屋でも水素爆発。
	14:00	水道管の復旧工事が完了し、村内全域に通水を始める。
	14:00	JR水戸支社より、水郡線の被災箇所が多く、復旧の見込みが立たない旨連絡がある。
3月15日	6:00	福島第一原子力発電所の4号機建屋でも爆発が発生し、建屋が損壊する。
	11:56	屋内退避対象地域を福島第一原子力発電所から半径20～30kmに指定される。
	13:30	たまかわ文化体育館で避難者の受け入れを開始する。
3月20日	13:30	たまかわ文化体育館の避難者を対象に被ばく調査を行い、被ばく者がいないことを確認する。
3月21日	8:30	石川町から分水を受けている村の水道水の採水をし、検査機関で放射性物質検査を行い、後日飲用等に使用しても問題はないことを確認する。
	10:00	村の露地野菜(あぶらな)の放射線量検査を実施し、暫定規制値を上回っていることが判明する。
3月24日	9:00	村の露地野菜(トマト)の放射線量検査を実施し、暫定規制値を大きく下回っていることが判明する。
3月29日	8:30	上水道の水源となっている村の地下水の採水をし、放射性物質が検出されず、飲用等に使用しても問題ないことを確認する。

※4月20日に避難所を閉鎖した。

東北地方太平洋沖地震による被害

公営住宅については、川辺住宅において石積擁壁崩落、法面崩落、地盤沈下などの被害が発生しました。

1. 人的被害

村内では幸い死者・行方不明者はいませんでした。負傷者が3名発生しました。

●人的被害の状況

死 者	0 人
行方不明	0 人
負 傷 者	3 人
計	3 人

2. 住宅の被害

住宅の被害は、半壊45戸、一部損壊654戸、計699戸でした。

●住宅全体の被害状況

全 壊	0 戸
半 壊	45 戸
一 部 損 壊	654 戸
計	699 戸

●公営住宅の被害状況

	被災数（管理数）
団 地 数	1 団地（8 団地）
戸 数	9 戸（176 戸）
被 害 額	10,922,100 円

【公営住宅の被害状況】



【ガレキ置場の様子】



3. 村道の被害

村道については、3月11日の大地震、その後の余震により公共土木災害に認定される（復旧に60万円以上かかる被害）33箇所、単独災害（同13万円以上60万円未満）68箇所、その他（同13万円以下）道路の陥没及び亀裂箇所多数の被害が発生しました。

●村道の被害状況

路線名	地先名	被害額(円)
I-1号線	玉川村大字北須釜字五升蒔地内	1,617,000
I-2号線	〃 中字入山地内	5,313,000
I-5号線	〃 竜崎字糶屋地内	4,515,000
I-6号線	〃 南須釜字千五沢地内	5,107,000
I-8号線	〃 吉字上ノ前地内	2,131,500
I-9号線	〃 竜崎字糶屋地内	1,383,900
II-1号線	〃 四辻新田字弥左衛門平地内	1,606,500
II-3号線	〃 南須釜字月夜作地内	588,000
II-8号線	〃 岩法寺字新屋敷地内	8,548,000
II-9号線	〃 岩法寺字竹ノ内地内	9,414,300
II-10号線	〃 南須釜字花見堂地内	1,134,000
II-11号線	〃 岩法寺字道苧地内	5,250,000
岩-1号線	〃 岩法寺字高野地内	829,500
岩-3号線	〃 岩法寺字中ノ町地内	1,323,000
岩-8号線	〃 岩法寺字湯神前地内	609,000
吉-6号線	〃 吉字杉内地内	619,500
山-1号線	〃 山小屋字曲久保地内	3,570,000
山-1号線	〃 山小屋字曲久保地内	2,814,000
山小-4号線	〃 南須釜字千五沢地内	1,428,000
四-6号線	〃 南須釜字青井沢地内	4,856,250
小-26号線	〃 小高字大谷地地内	5,147,250
小-29号線	〃 小高字大谷地地内	1,731,000
小-32号線	〃 岩法寺字新屋敷地内	9,521,400
川-1号線	〃 川辺字宮ノ前地内	1,651,650
川-7号線	〃 川辺字中沖地内	1,459,500
川-25号線	〃 川辺字館地内	905,250
北-2号線	〃 北須釜字桜窪地内	5,964,000
北-23号線	〃 北須釜字近館石地内	2,205,000
北-26号線	〃 北須釜字三蔵地内	2,553,650
北-27号線	〃 北須釜字三蔵地内	724,500
北-29号線	〃 北須釜字仁戸内地内	661,500
北-30号線	〃 北須釜字鷹待場地内	1,533,000
竜-4号線	〃 竜崎字糶屋地内	4,935,000
	33件	計 101,650,150

【村道II-11号線の被害状況】



【村道山-1号線の被害状況】



【村道吉-6号線の被害状況】



【村道竜-4号線の被害状況】



4. 上下水道の被害

地震発生直後より、配水管・送水管・給水管等の破損で、漏水が発生するとともに上水道区域内の主に高台で断水となりました。断水による水不足を解消するため、各地区の公民館や支所、役場の給水栓から、住民持参のポリタンクへの給水を行いました。水道は村建設協力会の昼夜に渡る協力により3月14日には復旧しました。

●上水道の被害状況

図面No.	地区	路線名	内容	被害額(円)
配水 1	中	村道I-2号線 車道	配水管 VPΦ100mm ソケット割れ	69,300
2	北須釜	村道I-10号線 車道	配水管 VPΦ75mm ソケット割れ	64,050
3	蒜生	村道蒜-5号線 車道	空気弁 Φ25mm漏水	28,350
4	岩法寺	県道福島空港西線 車道	配水管 DIPΦ250mm ソケット抜け	44,100
5	竜崎	村道I-4号線 車道	配水管 ACPΦ125mm ソケット割れ	191,100
6	川辺	村道川-25号線 車道	配水管 VPΦ100mm ソケット割れ	72,450
7	小高	村道小-31号線 車道	配水管 VPΦ75mm ソケット抜け	64,050
8	南須釜	村道南-22号線 車道	配水管 VPΦ100mm ソケット割れ	72,450
9	小高	村道小-10号線 車道	配水管水管橋 VPΦ75mm ソケット抜け	91,350
10	竜崎	村道I-4号線 車道	配水管 ACPΦ125mm ソケット割れ	191,100
11	竜崎	村道I-4号線 車道	配水管 ACPΦ125mm ソケット割れ	191,100
送水 1	北須釜	村道北-30号線 車道	送水管 鋼管Φ50mm ソケット割れ	46,200
2	南須釜	栗踏石配水池	送水管 ACPΦ150mm ソケット割れ	196,350
給水 1	川辺	村道川-21号線 車道	給水管 VP75mm ソケット割れ	60,900
2	北須釜	北須釜字池ノ作地内	給水管 VP20mm ソケット割れ	17,850
3	中	中字道上地内	給水管 VP13mm ソケット割れ	15,750
4	竜崎	竜崎字糶屋地内	給水管 VP13mm ソケット割れ	28,350
5	蒜生	蒜生字恵平地内	給水管 VP20mm ソケット割れ	26,250
6	岩法寺	岩法寺字蕨岡地内	給水管 VP20mm シモク割れ	45,150
7	竜崎	竜崎字糶屋地内	給水管 VP20mm ソケット割れ	26,250
8	中	中字向地内	給水管 VP13mm ソケット抜け	19,950
9	北須釜	北須釜字追分地内	給水管 VP13mm ソケット抜け	24,150
10	中	中字後作田地内	給水管 VP13mm ソケット抜け	26,250
11	岩法寺	岩法寺字宮ノ前地内	給水管 VP13mm エルボ抜け	14,700
12	岩法寺	岩法寺字蕨岡地内	給水管 VP20mm シモク割れ	26,250

給水 13	竜崎	竜崎字和久地内	給水管 VP20mm ソケット割れ	17,850
14	岩法寺	岩法寺字竹ノ内地内	給水管 VP25mm エルボ抜け	30,450
15	中	中字入山地内	給水管 VP20mm エルボ抜け	16,800
16	竜崎	竜崎字神ノ前地内	給水管 VP50mm ソケット割れ	50,400
17	岩法寺	岩法寺字蕨岡地内	給水管 VP20mm ソケット割れ	31,500
18	竜崎	竜崎字原作田地内	給水管 VP20mm ソケット割れ	14,700
19	竜崎	竜崎字糶屋地内	給水管 VP20mm ソケット割れ	28,350
20	川辺	川辺字宮ノ前地内	給水管 VP13mm ソケット抜け	25,200
21	川辺	川辺字中沖地内	給水管 VP13mm エルボ抜け	13,650
22	川辺	川辺字宮ノ前地内	給水管 VP13mm ソケット割れ	48,300
場内舗装	石川町畑	丈田ポンプ場	丈田ポンプ場場内舗装 (AS舗装)	967,050
場内舗装	南須釜	栗踏石配水池	栗踏石配水池場内舗装 (Co舗装)	1,086,750
場内舗装	岩法寺	岩法寺字和久地内	和久配水池場内舗装 (Co舗装)	693,000
38件				計 4,677,750

【玉川村上水道施設和久配水池（岩法寺字和久地内）の被害状況】



【上水道事業栗踏石配水池（南須釜栗踏石地内）の被害状況】



【丈田ポンプ場の被害状況】



【泉郷川河川横断配水管漏水の被害状況】

水道破損現況図
所在：石川県玉川村大字北須釜地内

平面図 Scale = 1:500

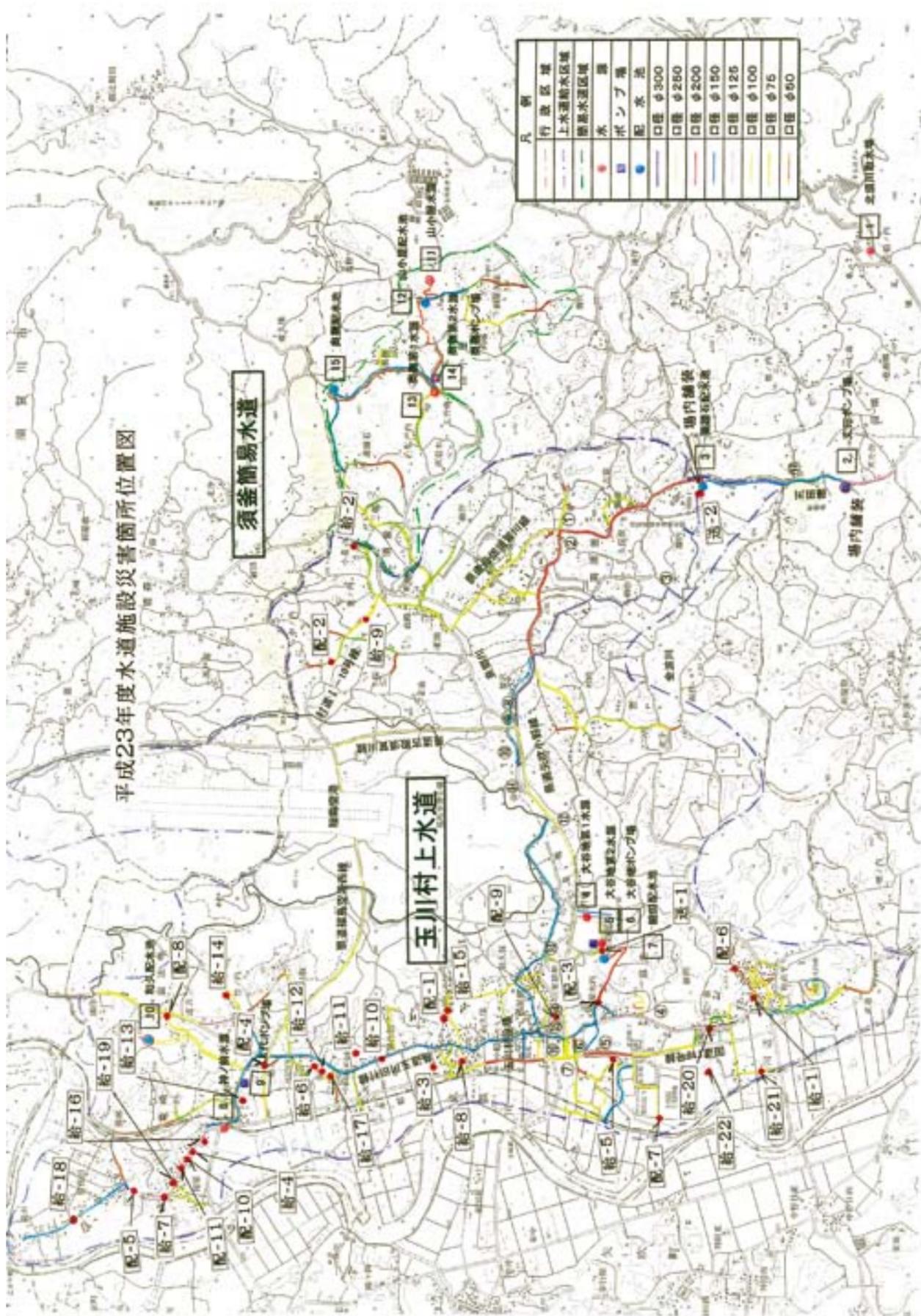
現況写真

① (遠景) ② (遠景) ③ (遠景)

① (近景) ② (近景) ③ (近景)

L部試掘 (遠景) L部試掘 L部試掘

R部試掘 (遠景) R部試掘 R部試掘



●下水道の被害状況

場所	内容	範囲	被害額
川辺処理場	舗装修繕、機器故障、 建物のクラック、舗装の沈下	川辺処理場	川辺
川辺処理区	マンホールの隆起・沈降、 管路埋設舗装の液状化	川辺処理区一円	9,750,300円
竜崎処理区	マンホールの隆起・沈降、 管路埋設舗装の液状化、 管路の破損	竜崎地区一円	竜崎
	マンホールの隆起・沈降、 管路埋設舗装の液状化	岩法寺地区一円	

【川辺処理場の被害状況】



【下水道事業排水管布設箇所（竜崎字糞屋地内）の被害状況】



【下水道マンホールの隆起】



5. 学校等の被害

地震により、小学校及び中学校の校舎・体育館・校庭、幼稚園において、内壁や天井、外壁のクラック、窓ガラス破損、歩道破損、水道管破損などの被害が発生しました。

また、東京電力(株)福島第一原発事故による放射能汚染問題により、村内すべての保育所や幼稚園、小学校や中学校が平成23年3月末まで休校となり、幼稚園の卒園式や小学校の卒業式が延期となりました。

さらに、毎年4月3日に開催していた南須釜の念仏踊りや、川辺小学校伝統の旗持ち入学も地震や原発事故の影響で中止となりました。

●学校等の被害状況

川 辺 小 学 校	校 舎：2階ガラスブロック破損2箇所、窓ガラス破損3枚、壁天井亀裂 体育館：窓ガラス破損、外周コンクリート部ひび割れ、側溝欠落 校 庭：体育館前水道破裂
玉川第一小学校	校 舎：外壁亀裂、教室等壁亀裂 校 庭：西側陥没
須 釜 小 学 校	校 舎：教室等壁亀裂多数 体育館：内板、床目地、トイレ内壁破損、東西外壁破損、側溝欠落 校 庭：門柱破損、一部沈み、屋外トイレ傾き
泉 中 学 校	校 舎：ガラスブロック破損、雨漏り、内壁亀裂、連絡通路部出入口サッシゆがみ 体育館：北面、南面サッシ窓破損、たたきひび割れ 校 庭：法面破損、敷地内道路、歩道破損
須 釜 中 学 校	校 舎：防火扉、照明、校舎内亀裂 体育館：天井プレス破損、室内柱亀裂、外柱亀裂
い ず み 幼 稚 園	園 舎：園舎内外亀裂 園 庭：西側園庭亀裂（側溝、フェンス改修）
す が ま 幼 稚 園	園 舎：園舎内壁亀裂、園舎外亀裂
就業改善センター	センター内亀裂、外周たたき亀裂

川辺小学校

■被害状況

場 所	内 容	〈当面の対応等〉
校舎1階	児童昇降口付近	廊下天井の蛍光灯片側のビスが外れ、ぶら下がった状態 〈電気設備店に連絡し、蛍光灯部分を外した〉
	そ の 他	天井や壁の所々にひび割れ等
	校長室・保健室	棚の物が落下
校舎2階	廊下天井作業扉	半開き状態 〈元に戻した〉
	4年教室前	明かり採りガラス面3カ所にひび 〈透明テープで処置〉
	図 書 室	教師用PCが床に落下 〈元に戻し、機能に支障なしを確認〉
	音 楽 室	高所設置のスピーカー2台が床に落下 〈ケーブル断線のため準備室に保管〉
そ の 他	天井や壁の所々にひび割れ等 資料室の教材・備品が散乱	
体 育 館	南側の窓上部	畳一畳ほどの大型ガラスの約半分が破損、校舎と体育館の間のコンクリートたたき部分に落下した 〈破損部分をカーテンで塞ぎ、割れたガラスを処理〉

■復旧工事費用（被害額）

4,653,771円	体育館屋根修理・ガラス入替・足洗い場水洗修理、校舎天井ひび割れ撤去、校舎側側溝修理、職員室壁亀裂修理、砂場囲い工事、建物災害復旧工事、災害復旧工事設計管理業務委託料
------------	--



■当時の対応

日	時	記 事
3月11日(金)	14:46	地震発生 校外子ども会担当地区ごとに、職員が家庭訪問をして児童の状況を確認 児童に被害なし たまかわ文化体育館に、児童を含めた家族が避難しているかを確認 避難家族はなかった
3月13日(日)		臨時小中学校長・幼稚園長会議 被害状況の確認、14日の臨時休校決定
3月14日(月)	10:00 13:00	臨時休校 職員打ち合せ 校舎内の清掃（職員作業） 卒業式場作成（職員作業） 臨時小中学校長・幼稚園長会議 15日より授業再開決定
3月15日(火)	13:00	臨時小中学校長・幼稚園長会議 午後授業打ち切り 16日(水)から18日(金)までの臨時休校決定 一斉下校 余震及び福島第一原子力発電所の事故により、給食後保護者に迎えに来てもらい下校させる
3月16日(水)		臨時休校
3月17日(木)		臨時休校 臨時小中学校長・幼稚園長会議 23日までの臨時休校及び修了式、卒業式の延期を決定
3月18日(金)		臨時休校
3月22日(火)		臨時休校 臨時小中学校長・幼稚園長会議 28日卒業式実施決定
3月23日(水)		臨時休校
3月24日(木)		式場作成
3月25日(金)	9:30	避難児童生徒への学習支援（たまかわ文化体育館）
3月28日(月)		修了証書授与式 卒業証書授与式
3月29日(火)		植栽片付け 校長住宅修復

平成23年度 4月4日(月)		臨時小中学校長・幼稚園長会議 始業式、入学式を予定通り開催することを決定
4月6日(水)		始業式、入学式
4月12日(火)		音楽室 床の張り替え 余震のため2～6年が集団下校（職員下校指導）
4月13日(月)	14:40	余震に備え、2・3年、4～6年、複数での下校（職員下校指導）
6月17日(金)	8:20	水泳学習 石川町民プール 3～6年
7月1日(金)	8:20	水泳学習 マイティスイミングスクール 1・2年
7月7日(木)	8:20	水泳学習 石川町民プール 3～6年
8月30日(火)	8:20	水泳学習 石川町民プール 3～6年
9月2日(金)	8:20	水泳学習 マイティスイミングスクール 1・2年

玉川第一小学校

被害状況

場所	内容
パソコン室	空調設備 天井より剥離
校庭西側	盛土部分一部亀裂
校舎全般	外壁一部剥離 校舎及び西側階段トイレ連結部分亀裂 全校舎内壁、全教室壁にクラック

※平成11年度校舎、平成22年度体育館耐震化工事により、人身に関わる大規模な被害はなかった。

復旧工事費用（被害額）

577,500円	外壁補修
----------	------



当時の対応

日	時	記事
3月11日(金)	13:30 14:46 17:30	1・2年生下校 15:00発バスに乗車する1・2年生児童は残っていた 地震発生 児童を校庭東側へ移動させる 迎えにきた保護者へ、担任が確認児童を引き渡す 1・2年生児童の安否確認 最終児童を保護者へ引き渡す
3月13日(日)		臨時小中学校長・幼稚園長会議 被害状況の確認、14日の臨時休校決定
3月14日(月)	8:20 8:50	臨時休校 臨時職員打ち合せ 校舎点検〈被災箇所確認〉

3月14日(月)	9:00 11:01 14:30	児童宅安全確認・校内片付け 福島原発第3号機爆発 臨時小中学校長・幼稚園長会議 15日より授業再開決定 村内学区見回り（教頭）
3月15日(火)	13:00	臨時小中学校長・幼稚園長会議 午後授業打ち切り 16日(水)から18日(金)までの臨時休校決定 児童下校
3月16日(水)		臨時休校
3月17日(木)		臨時休校 臨時小中学校長・幼稚園長会議 23日までの臨時休校及び修了式、卒業式の延期を決定
3月18日(金)		臨時休校
3月22日(火)	14:30	臨時休校 臨時小中学校長・幼稚園長会議 28日卒業式実施決定 臨時職員打ち合せ
3月23日(水)	10:00	臨時休校 卒業式場作成 ※6年生のみ卒業制作等荷物を持ちに自由登校 ～25日
3月24日(木)	9:30 9:30 14:30	辞令交付 校長於教育委員会 被災児童ボランティア教職員6名 於文化体育館 職員会議
3月25日(金)		1年・3年学級編成
3月28日(月)	11:00 11:30	修了証書授与式 卒業証書授与式 卒業生見送り 見送り後 在校生下校 下校バス 竜崎・岩法寺・蒜生・小高方面
4月1日(金)		南相馬市1家庭2名、富岡町1家庭2名被災児童受入
平成23年度 4月4日(月)		臨時小中学校長・幼稚園長会議 始業式、入学式を予定通り開催することを決定
4月6日(水)	9:30 10:00	始業式 入学式
4月12日(火)	14:50	強い余震のため 一斉下校 教師引率
※平成23年度の本校の教育は、5月21日運動会が原発事故の放射能の影響を考慮し、午前中で終了した以外は、教育計画どおり実施された。		

須釜小学校

被害状況

場 所	内 容
校 舎	ガラスにひび1枚 職員室蛍光灯台座留め具破損 内壁にクラック多数 外壁にクラック多数
体 育 館	窓ガラスにひび1枚 天井鉄骨支えボルト破損 床外周接合部にすき間多数 東外壁の剥離（トタン・モルタル） 西外壁の剥離（モルタル） 外壁電線固定箇所の破損 U字溝ずれ等 トイレ壁にクラック 体育館内壁板のずれ 建物外周と土台にすき間 玄関天井が少し下がっている（4/24雨漏り） ステージ天井板の破損（4/12）
校 庭	トイレ建物の傾き 地面の陥没
そ の 他	校門門柱2本のうち1本が破損 プール機械室内壁にクラック 農具庫の傾き、シャッターゆがみ

復旧工事費用（被害額）

7,865,203円	物置修繕、暗渠工事、建物災害復旧工事、災害復旧工事設計管理業務委託料
------------	------------------------------------

当時の対応

日 時	記 事
3月11日(金) 14:46	地震発生 卒業式準備のため5年生児童24名の他は午前中で下校済み 2年生1名が兄弟を待っていた
14:55	児童が校庭・裏校庭へ避難 学校隣接団地より4年生4名合流 学校近くの児童宅より6年生4名合流 校長、教育委員会へ状況報告
15:10	5年生児童を昇降口で待機させ、保護者と連絡、順次引き渡し
16:20	スクールバスに教師が引率 保護者連絡による引き渡しで1家庭を除き下校完了
16:30	臨時職員打合せ 児童の安否異常なしを確認

	17:10 17:35 17:40 20:00 20:10	その後職員へ退勤の指示（家族保護のため） 教頭、校内巡視 ガラス破損・校舎内壁クラック等の被害状況確認完了 児童下校完了 校長の他職員退勤完了 校長、校内巡視完了 校長、教育委員会と電話 避難所に指定されないことを確認 教育委員会へ文書による被害報告完了
3月13日(日)		臨時小中学校長・幼稚園長会議 被害状況の確認、14日の臨時休校決定
3月14日(月)		臨時休校 臨時小中学校長・幼稚園長会議 15日より授業再開決定 職員作業で散乱した家庭科室の食器・図書室の本等復旧
3月15日(火)		臨時小中学校長・幼稚園長会議 午後授業打ち切り 16日(水)から18日(金)までの臨時休校決定 給食後下校
3月16日(水)		臨時休校
3月17日(木)		臨時休校 臨時小中学校長・幼稚園長会議 23日までの臨時休校及び修了式、卒業式の延期を決定
3月18日(金)		臨時休校
3月22日(火)		臨時休校 臨時小中学校長・幼稚園長会議 28日卒業式実施決定
3月23日(水)		臨時休校
3月25日(金)		卒業式場準備（職員作業）
3月28日(月)		修了証書授与式 卒業証書授与式
3月29日(火)		大熊町・南相馬市等からの避難児童5名受入れ 学用品等を業者へ手配
4月1日(金)		校内破損箇所修繕開始 ※平成23年度内に破損箇所修繕完了
平成23年度 4月4日(月)		臨時小中学校長・幼稚園長会議 始業式、入学式を予定通り開催することを決定
4月6日(水)		始業式、入学式
4月18日(月)		子どもの心のケアのためのアンケート実施（以後8月末までに計4回）
8月4日(木) ～8日(月)		校舎除染作業（校長、教頭、PTA三役、職員）
11月28日(月)		浜松医科大学チームによる東日本大震災に伴う「心のケア教育プログラム」研修会

泉中学校

被害状況

場 所	内 容	
南校舎1階	放送室入口の壁に亀裂 心の教室の壁に亀裂 女子更衣室内壁に亀裂 音楽室前消火栓まわりの壁に亀裂 音楽準備室壁に亀裂	保健室入口の壁に亀裂 校長室前の消火栓まわりの壁に亀裂 職員女子トイレタイル破損 音楽室壁に亀裂 職員室内机上の書類散乱
南校舎2階	男子トイレ水タンク上蓋破損 女子トイレ前壁に亀裂	男子トイレ側壁タイル破損 階段円柱に亀裂
北校舎1階	技術室入口上部壁に亀裂	食堂入口上部壁に亀裂
北校舎2階	図書室前配電盤まわりの壁に亀裂 男子トイレ仕切り板の取り付け部分破損 男子トイレ前消火栓まわりの壁に亀裂	
その他校舎	【1階中央廊下・階段】昇降口前階段ガラスブロック破損 【2階中央廊下】校舎つなぎ目部分に亀裂及び破損 【食堂】外壁に亀裂	
体 育 館	北側・南側の窓ガラス、サッシが破損、落下 屋根のひさし裏が破損 玄関外の階段部分に亀裂 内側天井部分の部品破損、落下	周りの基礎部分に亀裂 2階連絡通路の壁に亀裂 内部壁（石膏ボード）が破損、落下
プ ール	東側外壁に亀裂	止水栓基礎部分の破損
外・敷地	職員室前庭園の庭石が倒壊 校地周り道路に亀裂、陥没 駐輪場に亀裂 外部室外壁が破損 校舎時計台タイル破損	校庭南側の側面に亀裂 体育館裏通学路の外灯破損、落下 国旗掲揚台に亀裂 外部室男子トイレ天井の破損 受水槽の漏水

復旧工事費用（被害額）

60,818,900円	職員トイレ・南校舎2階トイレ修繕及び体育館通路口補修、土地災害復旧工事、建物災害復旧工事、土地・建物災害復旧工事設計管理業務委託料、楽器運搬調整業務委託料
-------------	---

当時の対応

日 時	記 事
3月11日(金)	卒業式の片付けも終わり、3年生は帰宅済み。 1,2年生は顧問教師の下、校庭では、野球部、ソフトボール部、体育館では剣道部、バレーボール部、卓球部が練習中であった。 地震発生 職員室内の警報機が鳴り響き、ロッカー内、机上の書類が崩れ、室内に散乱した。 職員、生徒は地震がおさまるまでその場にしゃがみこんでいた。 大きな揺れがおさまったので、顧問教師の指示に従って、生徒が避難を開始。生徒全員に荷物を持たせ職員室前の中庭に集合させた。 敷地内にいる生徒の健康観察を行った。生徒全員、無事で怪我をした者はいなかったが、恐怖で泣き出している者も数名みられた。 余震が続いていたため、外での待機を継続。 14:46 14:50 15:00 16:00 16:30 17:00 17:20 18:45
3月13日(日)	臨時小中学校長・幼稚園長会議 被害状況の確認、14日の臨時休校決定
3月14日(月)	臨時休校 臨時小中学校長・幼稚園長会議 15日より授業再開決定
3月15日(火)	臨時小中学校長・幼稚園長会議 午後授業打ち切り 16日(水)から18日(金)までの臨時休校決定
3月16日(水)	臨時休校
3月17日(木)	臨時休校 臨時小中学校長・幼稚園長会議 23日までの臨時休校及び修了式の延期を決定
3月18日(金)	臨時休校
3月22日(火)	臨時休校 臨時小中学校長・幼稚園長会議
3月23日(水)	臨時休校
3月28日(月)	修了証書授与式
平成23年度 4月4日(月)	臨時小中学校長・幼稚園長会議 始業式、入学式を予定通り開催することを決定
4月6日(水)	始業式、入学式

須釜中学校

被害状況

場 所	内 容
校 舎	学習支援室照明器具一基破損 天井ボード破損…2年1組、学習支援室、3年2組、理科室 ストーブの固定はずれ…ランチルーム、3年1組、3年2組 ストーブ動作不良…校長室、職員室、相談室、音楽室1・2、1年1組教室、 3年2組教室、阿部学級 時計停止…学習支援室、3年1組 防煙扉誤動作1箇所…警告ランプ点灯、防煙扉閉鎖 公衆電話破損
体 育 館	ミーティングルーム照明器具一基はずれかけ、図書室の照明器具一基ズレ 体育館天井の補強鉄芯の歪み
そ の 他	校舎北側のアスファルトに亀裂 クラブハウス（部室）南側の斜面側溝のコンクリートブロック大きく傾く

復旧工事費用（被害額）

7,258,070円	2階西階段防火ドア錠修繕、コンセント取替・蛍光灯器用修理、縦排水修繕、手洗器アングル用給水管修理、外手洗場漏水修理、グラウンドネット補修、照明器具修理、体育館更衣室壁補修、地デジアンテナ取替費、排水パイプ修繕、体育館トイレクラック補修、建物災害復旧工事、舗装修繕工事、災害復旧工事設計管理業務委託料
------------	---

当時の対応

日 時	記 事
3月11日(金) 14:46	地震発生 3年生は卒業式後下校済み 1・2年生は部活動や修学旅行の準備中 体育館の生徒には卓球台の下や壁際への避難を指示 校舎内の生徒には机の下に潜るように指示 地震がおさまってから、外に避難させる その後各家庭に連絡、迎えに来た生徒は下校 連絡がつかない生徒は学校待機
16:00	生徒全員下校 普通教室を中心に教職員が整理・整頓を行う
17:05	臨時職員打合せ 被害状況と次週の対応を確認後、教職員も退勤

3月13日(日)		臨時小中学校長・幼稚園長会議 被害状況の確認、14日の臨時休校決定
3月14日(月)		臨時休校 臨時小中学校長・幼稚園長会議 15日より授業再開決定
3月15日(火)	8:10 16:15	臨時の職員打合せ 本日の日程を確認 8:15より朝の学活と清掃を全校生徒で行い、2校時目から4校時目までを普通授業、13:00に完全下校することを指示 臨時小中学校長・幼稚園長会議 午後授業打ち切り 16日(水)から18日(金)までの臨時休校決定 臨時職員打合せ 翌16日(水)の臨時休校を確認
3月16日(水)		臨時休校
3月17日(木)	午 後	臨時休校 臨時小中学校長・幼稚園長会議 23日までの臨時休校及び修了式の延期を決定 1～3年生までの全生徒宅に電話 生活、学習の状況、臨時休校の延長、村外避難の有無を確認
3月18日(金)		臨時休校
3月22日(火)	14:30	臨時休校 臨時小中学校長・幼稚園長会議 臨時職員打合せ 修了式の実施時期について確認、1・2年生全員に電話連絡
3月23日(水)		臨時休校
3月28日(月)	10:00	修了証書授与式 一斉下校
3月30日(水)		南相馬市立石神中学校より新3年生に一時転入予定の生徒と保護者が来校
3月31日(木)	9:15	たまかわ文化体育館に避難している幼児・児童への学習支援に、本校教職員が参加
平成23年度 4月4日(月)		臨時小中学校長・幼稚園長会議 始業式、入学式を予定通り開催することを決定
4月6日(水)		始業式、入学式

いずみ幼稚園



被害状況

場所	内容	
園舎内	保育室（ほし組）出入口のサッシ戸が倒れて破損 吹き抜け採光窓ブレース周りクロスはがれ トイレのタイル壁の亀裂	廊下の卒園記念作品落下
建物	建物外壁の亀裂 園舎の外壁亀裂 屋根裏の鉄骨がはずれる	屋根瓦のずれ 軒下のモルタルのはがれ

復旧工事費用（被害額）

4,295,651円	屋根修繕工事、トイレ排水管・トイレタイル補修、クロス補修、不凍水抜栓修繕、物置屋根修繕、軒天張替工事、フェンス取替工事、砂場囲い工事、土地災害復旧工事、災害復旧工事設計業務委託料
------------	---

当時の対応

日	時	記 事
3月11日(金)	13:40	園児最終バス発車 預かり園児以外は降園済み
	14:46	地震発生 〈預かり園児26名・児童クラブ児17名〉 預かりの部屋 預かりの園児寝ている子、おきてる子半数裏庭に避難 揺れがおさまったのを見計らい玉川第一小学校校庭へ避難 保育室 預かり4名（昼寝しない子）は保育者と机の下で揺れがおさまるまで待つ おさまると同時に小学校校庭に避難 児童クラブ児（小学生） 大きい揺れがおさまってから校庭に避難 屋外のため冷えるので、揺れの状況を見て園からブルーシートと毛布を持ち出し、園児・児童クラブ児にかける（寒く雪が降ったりする） 通信不能のため迎えを待つ
	17:00	迎えが来ない園児3名と児童クラブ児1名が小学校1年生の教室で待機 おやつを食べて落ち着いた様子
	18:00	幼稚園・学校周辺の地震が落ちついてきたので、園児3名と児童クラブ児1名を車で送っていく 児童クラブ児1名は祖父母が在宅、園児1名の両親も在宅 園児1名はすれ違いがあったものの学校で受け渡す
	18:30	最後の園児1名の家族が迎えに来て、園児・児童クラブ児全員の帰宅が完了
3月12日(土)	午前 午後	ふれあいセンターで避難者のための炊き出し 幼稚園の片付け・園児の状況を把握
3月13日(日)		対策会議に職員2名出席（役場） 園の片付け 臨時小中学校長・幼稚園長会議 被害状況の確認、14日の臨時休園決定 翌14日は休園とする旨を各家庭に連絡 つながらない家庭には公用車で連絡
3月14日(月)		臨時休園（クックちゃんクラブも臨時休園） 園の掃除・片付け 地割れにはシートを張る 臨時小中学校長・幼稚園長会議 15日保育再開決定
3月15日(火)	午前	午前保育再開とするが翌日から休園の通知を配布 そら組 26名中／出席9名・欠席17名 はな組 23名中／出席8名・欠席14名 つき組 23名中／出席14名・欠席7名 ほし組 25名中／出席15名・欠席10名 ※マスク着用で降園させる

		臨時小中学校長・幼稚園長会議 16日(水)から18日(金)までの臨時休園決定
3月16日(水)		臨時休園 (クックちゃんクラブも臨時休園)
3月17日(木)		臨時休園 (クックちゃんクラブも臨時休園) 臨時小中学校長・幼稚園長会議 炊き出し (~3月25日(金)) 卒園準備等
3月18日(金)		臨時休園 (クックちゃんクラブも臨時休園)
3月20日(日)		避難状況…女兒 (神奈川) 女兒 (鹿児島) 男児 (喜多方)
3月22日(火)		臨時小中学校長・幼稚園長会議 27日卒園式実施決定 各家庭に連絡
3月25日(金)		保育室 (ほし組) ガラス修理
3月27日(日)	10:00	卒園式挙行 於 玉川第一小学校体育館 出席者 年長児・保護者・来賓数名
3月28日(月) ~31日(木)		炊き出し 学年末の事務整理・入園式の準備
平成23年度 4月4日(月)		臨時小中学校長・幼稚園長会議 吹き抜け採光窓ブレース周りクロス補修
4月7日(木)		入園式 (予定通り挙行) 午前保育 放射線量に配慮しながら保育活動 戸外での遊びは時間制限あり (30分くらい) 砂場遊び・栽培は行わない
4月14日(木)	9:00	福島県放射能健康リスク管理アドバイザーによる説明会 (県南・県北・県中・会津) 於 たまかわ文化体育館
4月16日(土)		トイレのタイル補修工事
4月27日(水)	13:00	東日本大震災に伴う「子どもの心のケア」に関する研修会 於 たまかわ文化体育館
5月27日(金)	15:30	簡易型積算線量計を用いた放射線量測定にかかる説明会 於 教育委員会 (6月開始)
5月31日(火)		男児1名、北海道に避難。
6月10日(金)		屋外のプール使用中止のため、温水プール利用に関する事前説明会 於 石川町温水プール
6月13日(月)		園庭などの放射能測定開始 (月~金) ※平成24年度も継続し測定

6月19日(日)		震災後の子どものトラウマ・ケアの講演 於 石川町 松多屋
8月2日(火)		職員で園舎除染
8月8日(月)		裏園庭の工事開始
9月17日(土)		運動会実施 (たまかわ体育館)
10月14日(金)		裏園庭震災工事検査 水道本栓工事終了 玉一体育館裏側溝除染
10月17日(月)		園児個人線量計 (バッチ) 配布
11月17日(木)		東日本震災に伴う「こどもの心のケア」に関する研修会 於 たまかわ文化体育館
1月24日(火)		リアルタイム線量計測パネル設置
2月13日(月)		放射線個人用バッチ結果報告配布

すがま幼稚園

被害状況

場 所	内 容
園 舎	職員室…棚のものがすべて床に落下し、部屋中に散乱する 園舎外壁…数ヶ所の亀裂、U字溝のずれ等 保育室…天井と窓のつなぎ目剥離（モルタル）、天井板破損、本棚の本が落下、天窗（ガラス）ひび割れ1枚、プレイルームのスピーカー落下、天井と窓枠部分のずれ（後日雨漏りあり）保育室前のベランダ…数ヶ所に亀裂 遊戯室…壁板のずれ、隙間多数、壁画落下 トイレ…タイルの破損・落下、壁に亀裂数ヶ所
分 舎 （預かり 保育施設）	ガスボンベ…止め金具のはずれ ベランダに多数のひび割れ 西側外壁剥離 西側の側溝部分 一部陥没

復旧工事費用（被害額）

955,500円	壁補修工事、砂場設置工事
----------	--------------

当時の対応

日 時	記 事
3月11日(金) 14:46	地震発生 預かり以外の園児は帰宅済み 園舎には幼稚園職員だけ 分舎（預かり保育、児童クラブ施設）では28名の園児が昼寝中 小学生は自主学習中（小学校から児童クラブに向かう途中の児童もいたため職員が迎えに出た） 幼稚園職員が分舎に駆けつけ、クラブ職員と共に昼寝中の園児を起こして外に誘導、園庭中央に避難させた 余震が続いていたため、そのまま外で待機 （預かり保育児・児童クラブ児 計40名） 驚きと恐怖で泣き出す子も数名見られた 職員は余震に注意しながら園児の防寒着や靴を持ち出して園児に与え、保護者の迎えを待った 迎えの保護者を一人一人確認しながら引き渡した 人的被害はなし 園児の安否について教育委員会に報告 園長、主任が園舎内外の被害箇所を確認するため巡視

	16:30	分舎から幼稚園に移動、引き続き保護者への引き渡し 保護者の迎えを待ちながら、園舎内の片づけを済ませた 職員間で今後の対応を協議
	18:00	土・日は出勤、園児宅へ連絡や家庭訪問して安否確認を行う等 園児38名の引き渡しが終了
	19:00	迎えの遅い園児は幼稚園職員が対応、嘱託職員は帰宅 （2名の保護者は、仕事の都合で迎えに来るのが遅かった） 最後の2名の迎えが来て無事帰宅 全員を親元に帰すことができた その旨、教育委員会に状況報告 幼稚園職員も帰宅
3月12日(土)		被害状況の報告を文書にて教育委員会に提出 職員 炊き出し協力（保健センター内・文化体育館内） ※避難者のための炊き出し 園児宅へ電話連絡し安否確認 繋がらないことが多かったが、職員の携帯電話を使いながら各家庭に連絡、園児の無事を確認した
3月13日(日)		職員 園児宅の安全確認のため家庭訪問（園児の元気な顔を見ることができた）炊き出し協力 臨時小中学校長・幼稚園長会議 被害状況の確認、14日の臨時休園決定
3月14日(月)		臨時休園（クックちゃんクラブも臨時休園） 職員通常勤務 臨時小中学校長・幼稚園長会議 15日保育再開決定 今後の対応について職員間で打合せ 職員 炊き出し協力
3月15日(火)		午前保育を再開 在籍78名中、59名が出席 クックちゃんクラブ登録児童数45名中、11名が利用 臨時小中学校長・幼稚園長会議 16日(水)から18日(金)までの臨時休園決定 職員 炊き出し協力
3月16日(水)		臨時休園（クックちゃんクラブも臨時休園） 職員通常勤務 炊き出し協力
3月17日(木)		臨時休園（クックちゃんクラブも臨時休園） 職員通常勤務 炊き出し協力 臨時小中学校長・幼稚園長会議
3月18日(金)		臨時休園（クックちゃんクラブも臨時休園） 職員通常勤務 炊き出し協力
3月20日(日)		園児2名が栃木市と会津若松市の母親の実家に一時避難するとの連絡（1～2週間程度で帰宅するとのこと） 職員 炊き出し協力

3月21日(月)		職員 炊き出し協力
3月22日(火)		職員通常勤務 卒園式に向けての準備 臨時小中学校長・幼稚園長会議 27日卒園式実施決定 各家庭に連絡
3月23日(水)		職員通常勤務 職員 炊き出し協力 卒園式に向けての準備
3月24日(木)		職員 卒園式に向けての準備
3月25日(金)		職員 卒園式に向けての準備
3月27日(日)		第34回卒園式 年少児は自宅待機とし、年中組・年長組で行う(欠席児無し) 「できるだけ短時間で、思い出に残る卒園式」を心掛けて卒園式に臨んだ 久しぶりの園児の笑顔は、震災にも負けず元気いっぱいだった
3月28日(月) ～31日(木)		職員 炊き出し協力 学年末の事務整理・事務引き継ぎ 入園式の準備
4月1日(金)		大熊町、楢葉町より3名の避難園児受け入れを決定 教材業者へ依頼し、学用品等を寄付してもらう 卒園児の保護者などに制服、カバン等の寄付を募る
平成23年度 4月4日(月)		臨時小中学校長・幼稚園長会議
4月5日(火)		入園式打合せ 県より園庭の放射線量測定のため来園
4月7日(木)	10:30	入園式(予定通り挙行) 午前保育
4月8日(金)		戸外での活動 時間制限(約30分) 教育課程を見直しながら保育活動を開始 園外保育(ブルーベリー狩り、リンゴ狩り等)を控える 栽培活動や砂場遊びなどの戸外活動はしばらくの間中止とする マスクをしての登園を促す 飲み水持参 保育室の窓は閉めておく 運動遊びは村体育センターで行う
4月11日(月)	17:16	震度5弱 幼稚園舎内外・分舎ともに異常なし
4月14日(木)		福島県放射能健康リスク管理アドバイザーによる説明会に参加 (たまかわ文化体育館)

4月27日(水)		東日本大震災に伴う「子どもの心のケア」に関する研修会に参加 (たまかわ文化体育館) 春の遠足に対する保護者へのアンケート実施 実施に対しての反対意見は2～3%
5月2日(月)		園庭の放射線量測定開始(委託業者にて)
5月9日(月)		園庭での遊びは30分間の時間制限をするが、砂場遊びは禁止とする また園庭で遊んだあとは着替えをしてから入室 うがい、手洗いの徹底を図った
5月27日(金)		簡易型積算線量計を用いた放射線量測定にかかる説明会出席(村教委)
6月1日(水)		新環境分析センター職員が園庭の放射線量測定のため来園 線量計『はかるくん』で測定記録開始 地表より1cm(0.246μSv/h) 100cm(0.227μSv/h) 場所によっては0.3～0.4μSv/h 園舎東側雨樋下の側溝の線量が高いため業者に除染依頼 すぐに除染してもらう。(4.403μSv/h→1.689μSv/hに減少)
6月10日(金)		戸外のプールは使用中止のため、温水プール利用に関する事前説明会に主任が出席(石川町温水プール内)
6月13日(月)		園庭の放射線量測定が始まる『はかるくん』 月～金曜日毎日測定し教育委員会に報告。
7月12日(火) ～14日(水)		屋外プール(須釜小学校プール)使用中止のため石川町の温水プールを使用(4歳児、5歳児)
9月17日(土)		運動会実施(玉川村体育センター)
9月29日(木)		個人線量計による積算線量測定に関する周知と、配付回収について のお便りを保護者に配付
10月12日(水)		個人線量計についての説明会に出席(村保健センター)
10月17日(月)		希望する園児に、個人線量計(バッジ)を配付
11月17日(木)		東日本大震災に伴う『子どもの心のケア』に関する研修会参加 (たまかわ文化体育館)
1月25日(水)		リアルタイム線量計測定設置完了(パネル)
2月14日(火)		放射線個人バッジ結果報告配布

西部共同調理場

被害状況

場所	内容
調理場	電気、水道、ガスとも異常なし 壁の一部に亀裂が入った程度

当時の対応

日	時	記事
3月11日(金)	14:46	地震発生 ガス、電気、水道関係を点検 異常は認められなかった その他、機械の点検 異常なしを確認 翌週月曜日の給食調理ができることを確認
3月13日(日)		臨時小中学校長・幼稚園長会議で休校決定
3月15日(火)		通常通り給食提供
3月17日(木)		原子力発電所の爆発により臨時校長会で休校が決定、給食停止 23日(金)までの休校に伴い、平成22年度の給食は3月15日をもって終了
3月19日(土)		相双地区よりたまかわ文化体育館へ避難している人たちがいるため お盆、バケツ等を貸し出し
3月～4月		欠食分の給食代返金業務
平成23年度 4月6日(水)		給食開始の準備 施設設備に異常なし
4月7日(木)		平成23年度給食開始 食材は学校給食会及び県外産を使用することを確認
1月31日(火)		玉川村において食品放射線量調査開始 検出なしのため、翌日からの給食に地元食材使用を決定
2月1日(水)		地元産食材の使用開始

東部共同調理場

被害状況

場所	内容
調理場	ガス安全装置の作動 食器消毒保管機が約5cmずれたが被害なし

当時の対応

日	時	記事
3月11日(金)	14:46	地震発生 洗浄等の片づけ作業は終わっており調理員は外へ避難
	15:30	事務所内を整理し調理員退勤
	16:30	調理場点検後、主任調理員退勤
3月13日(日)		臨時小中学校長・幼稚園長会議で休校決定
3月14日(月)		幼稚園、小学校中学校は休園及び休校 ガスの修理をし復旧
3月15日(火)		前日の献立で給食を実施 16日以降の材料はキャンセル

就業改善センター

復旧工事費用（被害額）

1,187,550円	就業改善センターコンクリートひび割れ補修工事、内柱・壁補修工事
------------	---------------------------------



教育委員会のまとめ

●地震発生後の対応

月 日	対 応 等
3月11日(金)	幼稚園・小中学校関係 〈園児児童生徒の安全確認と安全帰宅・家族への引き渡し〉 ○校庭に避難 ○帰宅途中の児童の安全確認 ○家族が迎えに来られない家庭は、学校・教師が対応 帰宅児童生徒の安全確認 教育委員会 〈東部、西部に分かれて巡視〉 ○園児児童生徒の安全確認 ○校舎内外被害状況把握と整理 ○教育委員も担当地区学校視察
3月12日(土)	被害状況の再確認と点検・初期対応、応急処置…教育委員会 学校現場確認 状況把握し、校長会長と今後の学校の対応について相談。(教育長、課長、校長会長)
3月13日(日)	臨時小中学校長・幼稚園長会議開催 (防災行政無線 4回広報)
3月14日(月)	臨時小中学校長・幼稚園長会議開催 (保育所長も同席) 15日(火)授業開始とする (防災行政無線 4回広報)
3月15日(火)	授業開始…7:40～児童生徒の登校確認 臨時小中学校長・幼稚園長会議開催 (保育所長も同席) 会議中、総理の「国民へのメッセージ」 繰上げ一斉下校 16日(水)～18日(金)まで休校・休園・休所 卒園式は延期 子どもへの地震、放射能対策・対応の指導徹底 保護者への休校のお知らせと地震・放射能被害予防対策の啓発 休校中の過ごし方、学習の仕方等指導 高校入試合格発表に関する学校の対応 (受け取りに行けない生徒の代理受理…役場公用車使用で対応)
3月17日(木)	臨時小中学校長・幼稚園長会議開催 (保育所長も同席)、定例教育委員会開催 23日(金)まで休校 (本年度中の授業、保育所年度内休所) 卒業式は延期とする
3月20日(日)	避難者の状況把握 (4月からの転入学等 20日現在、30名中10名玉川村への転入学等検討中) 文化体育館避難所支援 教職員のボランティア活動 (軽度な運動、読み聞かせ、学習支援) 読書コーナー等の設置 学校給食用お盆、食缶の貸与 避難者の児童生徒学校把握と在籍校や教育委員会へ連絡
3月22日(火)	臨時小中学校長・幼稚園長会議開催
3月27日(日)	幼稚園卒園式 (簡素化: 祝辞等省略等)
3月28日(月)	小学校修了式・卒業式 (簡素化: 祝辞等省略等)
4月4日(水)	臨時小中学校長・幼稚園長会議開催

●平成23年度の対応 … 小中学校の正常な教育活動を目指して

教育課程の実施について

できるだけ 今まで通りの生活状況で過ごせることが 最良の子ども達への心のケア

- 村内の学校校舎や教室、給食施設の被害は少なく、正常な授業が実施できる環境
…平成23年4月6日(水)小中学校入学式、7日(木)幼稚園入園式 簡素化で実施
- 教育委員会としては、放射線量や水道水や野菜等のモニタリングのデータや県放射線健康リスクアドバイザーの助言等を参考にしながら対応
- 学校給食 …平成23年4月7日(木)より通常通り実施
- 小学校運動会 …平成23年5月21日(土) 3校とも縮小して実施
- 学校プール活動…村内の屋外プールは使用せず、村外の他施設(屋内プール)の協力で水泳指導を実施(バス移動により)
小学校及び幼稚園…石川町民プール、マイティスイミング
中学校…古殿町民プール
- 修学旅行及び宿泊学習等は、予定使用施設の被害により、期日や場所を変更し実施
- 泉中学校の体育館が被災し使用できず、入学式は多目的ホールで実施。
体育は村民体育館や文化体育館を使用し実施。
- 2学期前半頃までは、屋外活動を制限。空間線量が低くなってから緩やかにした。
- 毎日の積算線量測定及び空間線量測定実施。学校給食用食材検査実施。

文化財 石造五輪塔(岩法寺)の被害



6. 福祉施設の被害

村内の福祉施設は深刻な被害には至らなかったものの、要援護者の避難という状況に対応するため、社会福祉協議会が中心となりふれあいセンターを24時間体制の避難所とし、要介護者とその家族を受け入れました。

玉川村ふれあいセンター

被害状況

場 所	内 容
事務所 廊下 休養室・日常生活訓練室 交流ホール・食堂 玄関・廊下・壁 外灯 機械室(ボイラー上水系統) 車庫	エアコンカバー2台破損 非常灯ずれ 照明灯カバーずれ(全取り外す) 数箇所ひび割れ 落下破損 配管損傷 建物ひび割れ・破損
施設外	水道管破裂 地盤沈下10cm

復旧工事費用(被害額)

2,551,577円	スパークたまかわシャッター、エアコン、街灯、水道管修繕、配管修繕
------------	----------------------------------

玉川村社会福祉協議会の対応

日	時	記 事
3月11日(金)	14:46	地震発生 デイサービス利用者16名 ○村災害対策本部設置によりふれあいセンター及び文化体育館の2ヶ所が避難所となる ○住宅倒壊危険や停電による在宅酸素利用者、ひとり暮らし要援護者等がふれあいセンターへ避難 避難者8世帯26名 (うち電気復旧により1世帯3名が22:20帰宅) 村より米支給 夕食からおにぎり・お茶対応とする 職員24時間勤務体制とする 夜勤者9名 ふれあいセンター機械室配管損傷を確認
3月12日(土)		2世帯10名が朝食後帰宅(おにぎり・お茶) 訪問介護事業所 通常営業 夜勤以外の職員が出勤 避難者対応及びひとり暮らし、利用者の状況・施設被害状況確認(電話・訪問) 通所介護事業所 休業 避難者11世帯35名(うち日中のみの避難者1名) 玉川村ふれあいセンターのみ避難所となる プライバシー保護のため衝立等設置 研修室・相談室・ホール・休養室・日本間・厨房奥日本間使用 床暖房フル稼働 ふれあいセンター機械室配管損傷により貯水槽に影響、復旧工事施工 夕食弁当対応 夜勤者5名 炊き出しボランティア 8名
3月13日(日)	7:00 8:40 8:50 16:20 17:00	1世帯2名帰宅 1世帯5名帰宅 1世帯6名帰宅 ○包括支援センター・居宅介護支援センター利用者及びひとり暮らしの方へ訪問・電話にて生活状況の確認(困りごと、不足品等) ○要援護者と一般村民が同じ施設を避難所とすることが困難と判断、各行政区長へ依頼し、各公民館を開放していただくよう要請 川辺公民館は地震で対応不能のため、再度川辺住民受入れ(3名) 1世帯4名 北須釜公民館へ 2世帯8名帰宅 夜からは要援護者対応とする(6世帯11名) 夜勤者3名(要援護者の避難所になったため看護師1名・職員2名体制) 炊き出しボランティア 8名

3月14日(月)	6:30	1世帯2名 村営住宅へ ○大竹副会長を中心に災害ボランティア立ち上げ協議 各行政区長へボランティア登録募集依頼(依頼文書・登録用紙配布) 要援護者等7名・川辺2名 夜勤者3名 炊き出しボランティア 8名
3月15日(火)	6:30 11:00 13:30	1世帯2名 村営住宅へ入居 1世帯2名 余震心配により北海道へ避難 要援護者等日中8名 ○エルピス玉川燃料不足により対応不可能のため受け入れ要請があり、1名日中受け入れ(13:30～15:30) 夜勤者 3名 炊き出しボランティア 12名 ○福島第一原発爆発影響により訪問介護事業所休業とする。(午後から待機)
3月16日(水)	11:20	3世帯5名 訪問介護事業所休業 1世帯2名帰宅 夜勤者 3名
3月17日(木)	8:10	訪問介護事業所一部のみ訪問(巡回利用者他1名対応) デイサービス利用者1名受け入れ(昼食持参日中のみ)16:30迎え 2世帯3名 夜勤者 3名 炊き出しボランティア 12名
3月18日(金)	8:54 11:20	デイサービス利用者1名受け入れ(昼食持参日中のみ)16:50迎え 2世帯3名帰宅(避難所解除により) ひとり暮らし高齢者安否確認・困りごと調査 避難所解除により夜勤者なし 炊き出しボランティア 12名

■避難者数〈ふれあいセンター〉

(単位:人)

日	時	入所	退所	日	時	入所	退所
3.11(金)	20:30	山小屋 3		3.14(月)	継続 継続 継続 6:30 16:20	南須釜 2	川辺 2
		小高 4				竜崎 4	
		南須釜 2				山小屋 1	
		小高 5				川辺 2	
		竜崎 6					
3.12(土)	8:00	竜崎 8	小高 10	3.15(火)	継続 継続 継続 6:30 11:00 13:30 15:30	南須釜 2	川辺 2 竜崎 2
		山小屋 1				山小屋 1	
		南須釜 2				中 1	
		竜崎 2				中 1	
		岩法寺 1					
3.13(日)	7:00	北須釜 3	岩法寺 1	3.16(水)	継続 継続 11:30	南須釜 2	竜崎 2
		竜崎 2				山小屋 1	
		蒜生 5				小高 1	
		川辺 2					
		岩法寺 5					
3.14(月)	7:30	蒜生 1	中 2	3.17(木)	継続 継続 8:10 16:30	南須釜 2	小高 1
		岩法寺 5				山小屋 1	
		蒜生 6				小高 1	
		北須釜 2					
		中 2					
3.15(火)	8:40	川辺 2	竜崎 8	3.18(金)	8:54 11:20 11:20 16:50	小高 1	南須釜 2 山小屋 1 小高 1
		川辺 2					
		川辺 2					
		川辺 2					
		川辺 2					
地区別避難者数							
川辺 2世帯 4人							
蒜生 1世帯 6人							
小高 3世帯 11人							
中 2世帯 3人							
岩法寺 2世帯 6人							
竜崎 4世帯 12人							
南須釜 1世帯 2人							
北須釜 1世帯 4人							
山小屋 2世帯 4人							
計						16世帯	52人

月日	要援護者	一般住民	日中のみ	宿泊人数	避難理由
3月11日(金)	9(2)	17		23	家屋危険、避難時困難、停電
3月12日(土)	7(2)	27	1	34	家屋危険、避難時困難
3月13日(日)	7(2)		5	10	家屋危険、避難時困難
3月14日(月)	7(2)			9	家屋危険、避難時困難
3月15日(火)	6(2)			5	家屋危険、避難時困難
3月16日(水)	5(2)			3(2)	家屋危険、避難時困難
3月17日(木)	4(1)			3(1)	家屋危険、避難時困難
3月18日(金)	4(1)			0(1)	家屋危険、避難時困難

()は家族・介護者数

特別養護老人ホームたまかわ荘

被害状況

場 所	内 容
施 設 内	天井や柱・壁のひび割れと隙間 温水ボイラーの故障 家具の移動（転倒なし）
施 設 外	水道管破裂 基礎から外側部分の隆起・陥没10m ² 程

復旧工事費用（被害額）

650,000円	施設の修繕
----------	-------

当時の対応

日 時	記 事
3月11日(金)	施設外への避難はなく、施設内広間に集合し、再震動に備えた。 介護用品や食材、ガソリン等燃料が不足し、また、職員の通勤用ガソリンが底をつくおそれがあり、施設の円滑な運営に不安があった。



泉保育所



被害状況

場 所	内 容
建 物	1. 鉄骨柱とへーベルコンクリート板との設置部分の亀裂剥離が鉄骨柱に発生し特に西側の壁面に多く発生した。 2. 西側の電力引き込み線の支柱が倒れ架線が地面に落下した。 3. 洗濯室、ホール南側のサッシ戸の鍵が閉まらなくなった。 4. 二宮金次郎の石像と土台の接着部分が剥離して分離した。
そ の 他	施設裏の排水枡（ヒューム管）の蓋と上部が外れ、その蓋が転がり落ちて駐車場に停めてあった車両1台に損傷を与えた。 落下物：防犯カメラモニターテレビ、電子レンジ、事務書類ケース

復旧工事費用（被害額）

509,828円	外壁補修工事、トイレ蓋割れ修繕、二宮金次郎像修繕、オープンレンジ、炊飯器用台、レターケース、補修用シリコンシーラント、自動車破損損害
----------	--

当時の対応

日 時	記 事
3月11日(金)	15:00 地震発生時は全児童昼寝中、地震がおさまる気配がないため急いで子供たちを起こし、着の身着のまま所庭に避難誘導（第1次避難）する。揺れの状況をみながら、毛布を持ち出し子供たちを寒さから守るようにする。その後、健康福祉課の手配により中型バスで役場駐車場へ移動し、寒さと安全を確保するためバスの中で迎えを待つ。
	16:00 子どもたちを迎えに来ない家族へ連絡するも、電話不通のためそのまま待つ。
	18:10 最後の子供を保護者へ引き渡す。後片付け、残務整理をする。

3月12日(土)	8:00	子どもたちの登所は無し。所長及び正職職員5名が出勤する。園舎内外の被害状況確認をする。子どもたちの安否確認は電話不通のため連絡が取れず。月曜日から受け入れる方向で所内外の清掃、整備をする。午前中は保健センターで炊き出し協力をする。
3月13日(日)	8:30	所長及び正職職員5名が出勤する。明日からの保育について話し合い、翌14日は休所と決定。
3月14日(月)	8:30	保育所休所。村議会による施設の視察あり。
3月15日(火)		子ども受け入れ。たんぼぼ組西側壁の損傷のため、保育は危険とみなし保健センターを借りて保育する。6名の出席あり。原発被ばくの恐れがあるため自宅待機という通達があったため、各保護者の協力を得て早めの降所をする。
3月16日(水)		保育所休所。炊き出し協力
3月17日(木)		保育所休所。炊き出し協力。23年度の入所説明会を行う。新年度は予定通り4月3日より保育開始することを伝える。
3月18日(金)		休所。午後7時より保護者役員会を開催。修了式は行わず、26日(土)、それぞれの家庭ごとに都合のいい時間に修了証書を取りにきてもらうことを決定する。また、28日から保育所を再開することを伝える。
3月22日(火)		休所。耐震検査
3月23日(水)		休所。電気関係検査 耐震検査
3月26日(土)		修了児それぞれに来てもらい修了証書を渡す。
3月28日(月)		保育所開所。7名出席
3月29日(火)		保育所開所。11名出席
3月30日(水)		保育所開所。10名出席
3月31日(木)		保育所開所。14名出席。たんぼぼ組西側壁修繕工事
平成23年度 4月1日(金)		辞令交付。職員会議。たんぼぼ組西側壁修繕工事 今年度、戸外での遊びは30分以内に制限、砂遊び・プール遊びは行わないことを決定。
4月5日(火)		環境放射線モニタリング実施（県子育て支援課委託調査員）
5月7日(土)		月～土曜日の午前8時、所庭の放射線量測定を開始する。（所庭中央1cm、50cm、100cm・すべり台、ドラム管トンネル、砂場、施設裏） 所庭中央での計測結果を各保育室の出入り口窓に貼りだし、保護者に見てもらうようにする。

6月1日(水)		環境放射線モニタリング実施（県子育て支援課委託調査員）
6月6日(月)		放射線量測定に関する説明会に所長が参加。（郡山労働福祉会館）
6月8日(水)		「今だから知ろう、放射線と放射能のこと」緊急講演会に職員2名参加。
6月14日(火)		戸外遊びを30分以内と制限しており、子供たちのストレス軽減のため、たまかわ文化体育館で遊ぶ。
6月30日(木)		女兒1名北海道へ避難のため退所
7月13日(水) 14日(木)		除染のため、施設東側の表土の袋詰め作業。（地域整備課）
7月19日(火)		たまかわ文化体育館で遊ぶ。
7月29日(金)		女兒1名京都府へ避難のため退所
8月5日(金)		除染のためプール洗浄をする。
8月6日(土)	18:30	独立行政法人日本原子力研究開発機構福島支援本部の支援協力により、保育所主催で保護者・一般住民を対象に「放射線に関するご質問に答える会」をたまかわ文化体育館で開催、約80名参加。
8月17日(水)		除染のため、砂場の砂を深さ30cmまで入れ替え作業。
8月27日(土)		保護者会による除染作業。施設屋上・プール・排水溝・テラス等を洗浄する。 小高消防団よりポンプ車1台、役場より洗浄機4台を借りる。
10月3日(月)		女兒1名北海道へ避難のため退所
10月17日(月)		バッジ式個人線量計を配布
1月16日(月)		バッジ式個人線量計を回収
1月25日(水)		リアルタイム線量計設置完了
2月1日(水)		給食食材の放射性物質検査試行開始
3月27日(火)		環境放射線モニタリング実施（県子育て支援課委託調査員）
3月30日(金) 31日(土)		所庭除染・表土入れ替え
平成24年度 4月2日(月)		給食食材の放射性物質検査本格開始

7. 公園・公民館等の被害

地震により、たまかわ文化体育館アリーナ、図書室の天井及び側壁等が破損、さらにたまかわ文化体育館東側駐車場及び南側進入路の北側歩道に亀裂などの被害が発生しました。

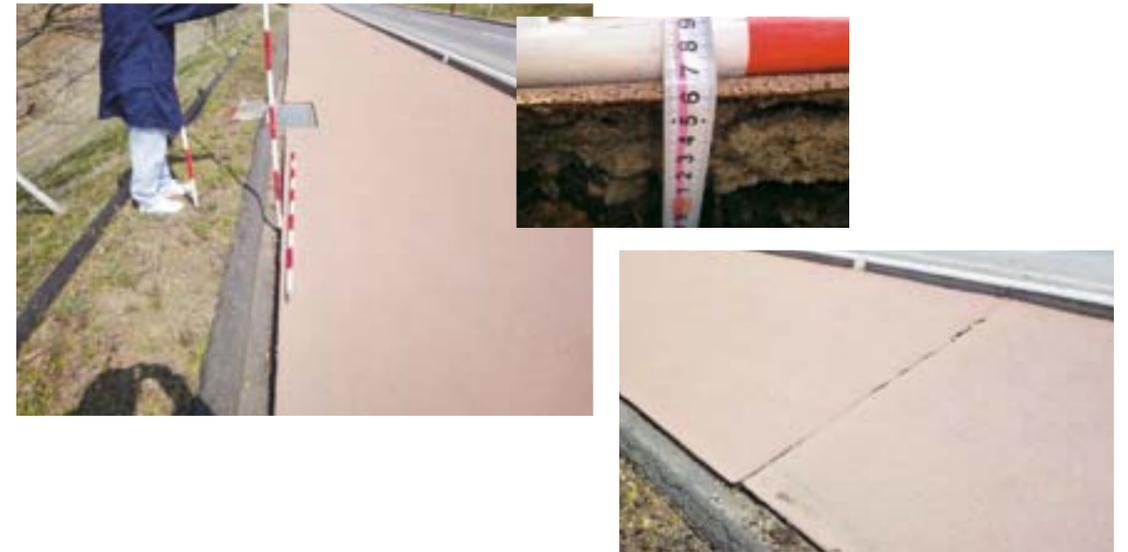
●公園・公民館等の被害状況

施設	被害箇所	被害額
玉川村総合運動公園	南進入路歩道亀裂	8,261,400円
	駐車場被害	13,505,100円
たまかわ文化体育館	建物内装損傷	8,155,350円
須釜公民館	建物一部損壊	1,239,000円
計		31,160,850円

【たまかわ文化体育館図書室内 本の散乱状況】



【南進入路北側歩道の被害状況】



【たまかわ文化体育館
東側道路の被害状況】



【たまかわ文化体育館駐車場の被害状況】



【たまかわ文化体育館天井、壁の被害状況】



8. 農地・農業関係施設の被害

●農地・農業関係施設の被害状況

農地	四辻新田蜂ノ巣1号
農業施設	四辻新田字蜂ノ巣第1 岩法寺字柳作 南須釜字柳作第2 山小屋字坂ノ下
被害額	8,853,000円

【四辻新田字蜂ノ巣地内（畑・水路）】



【岩法寺字柳作地内（農道）】



【南須釜字柳作地内（農道）】



【山小屋字坂ノ下地内（農道）】



9. 避難・救援の状況

避難所は平成23年3月11日から4月20日まで41日間にわたり、3箇所で開設されました。避難所となったたまかわ文化体育館では、被災した村民のほかに、原発事故で避難を余儀なくされた村外の人々も受け入れ、ピーク時には180名を超える避難者が生活していました。

●避難所の開設

開設期間	平成23年3月11日～4月20日 41日間
開設箇所	3箇所
避難者数	実人数最大186名（延べ1,897人） ※村外からの避難者内訳（人数） いわき市 215 大熊町 6 川内村 7 富岡町 9 浪江町 4 楢葉町 14 広野町 5 双葉町 2

避難所（たまかわ文化体育館）で生活されている方々の食事は、毎食職員が献立を考え、村内の多くのボランティアにより工夫を凝らし、作られました。調理は、村食生活改善推進員会、村日赤奉仕団、一般ボランティアの方で輪番制とし、依頼を受けた日時の協力となりました。

●炊き出しの実施

実施日時	平成23年3月16日(水)～3月27日(日) 〈12日間〉	〈午前〉6:30～11:30 朝食と昼食の調理、夕食の米とき
	平成23年4月1日(金)～4月6日(水) 〈6日間〉	〈午後〉15:00～18:00 夕食の調理、翌朝の米とき、調理準備
実施場所	玉川村保健センター	
調理	食生活改善推進員 延べ40名 日赤奉仕団 30名（把握人数） 一般ボランティア	
提供食数	1日3食（朝食・昼食・夕食） 最大時1回200食	

〈献立〉 ※献立は職員が担当

	朝食	昼食	夕食
3月17日(木)	(記録なし)	(記録なし)	おにぎり、味噌汁(じゃが芋、豆腐、青菜)
3月18日(金)	おにぎり(のり)、ゆで卵、みかん	(記録なし)	パン、シチュー、バナナ
3月19日(土)	(記録なし)	おにぎり(わかめ、塩)、ニラ玉汁、りんご	おにぎり(のり、塩)、肉・キャベツ炒め
3月20日(日)	おにぎり(ごま、うめ)、ラディシュ・キャベツの甘酢和え、みかん	けんちんうどん、チョコチップケーキ	おにぎり、青菜のお浸し、漬物、バナナ
3月21日(月)	古代米のおにぎり、青菜のお浸し、たくわん、りんご	おにぎり(のり、かつおのふりかけ)、揚げ物、味噌汁(大根、豆腐)	混ぜご飯のおにぎり、たくわん、きゅうりの漬物、ぼんかん
3月22日(火)	おにぎり、ボイルウインナー、バナナ	古代米のおにぎり、中華スープ、たくわん	カレーライス、りんご
3月23日(水)	古代米のおにぎり、わかめと豆腐の味噌汁、みかん	ご飯、ねぎ味噌、缶詰3種、白菜の浅漬け	塩むすび、すいとん汁、りんご
3月24日(木)	おにぎり(のり)、味噌汁(じゃが芋、白菜、油揚げ)、苺	ご飯、麻婆豆腐、りんご	おにぎり、とろろ昆布汁、ニラと豚バラ肉の粉焼き
3月25日(金)	おにぎり、味噌汁(玉葱、わかめ、油揚げ)、バナナ	ピラフ、コンソメスープ、苺	ご飯、ハンバーグ、いよかん
3月26日(土)	わかめのおにぎり、味噌汁(ニラ玉)、りんご	おにぎり(ごま)、煮物、メロンパン、ボンカン	おにぎり、メロンパン、ニラのスープ、夏みかん
3月27日(日)	ご飯、ふりかけ、漬物(野沢菜きゅうり、味付けメンマ、梅干し)、味噌汁(白菜と油揚げ)	いなり寿司、たくわん	おにぎり、ちくわとさつま芋の天ぷら、漬物、いよかん
4月1日(金)	パン、目玉焼き、コンソメスープ、かぶの浅漬け	おにぎり、さば味噌煮、りんご	ご飯、ニラの天ぷら、味噌汁(じゃが芋、玉葱、わかめ)
4月2日(土)	パン、野菜サラダ、卵とじ	混ぜご飯、ニラのお浸し、りんご	温そうめん、ポテトサラダ
4月3日(日)	おにぎり、厚焼玉子、味噌汁	レトルトカレー、白菜の浅漬け、りんご	ご飯、肉じゃが、キャベツときゅうりの漬物
4月4日(月)	ご飯、焼き鮭、味のり、梅干、白菜の漬物、かぶともずくの味噌汁	おにぎり、鶏から揚げ、せんキャベツ、トマト、りんご、かぼちゃサラダ	ご飯、丸ごとかぶのあんかけ、じゃが芋と魚肉ソーゼージ炒め、みかん
4月5日(火)	ご飯、納豆、ふりかけ、キャベツと卵の炒め物、かぶの味噌汁、苺	親子丼、青菜ともやしのごま味噌和え、りんご	ご飯、とろろ、揚げだし豆腐、かぶ漬け
4月6日(水)	ご飯、厚焼玉子、茹でブロッコリー、ウインナーソテー、じゃが芋の味噌汁、梅干、ふりかけ	ご飯、手作り焼き餃子、青菜のお浸し、スープ	カレーライス、野菜サラダ、オニオンスープ、りんご

【夕食の準備風景】



【避難者へのホールポディカウンター検査】



【たまかわ文化体育館内の避難所の様子】



【和みのひととき】



【ボランティアによる風船作り教室】



● 救援物資等の受け入れ

発災直後は、毛布やタオルなどの生活物資が不足していましたが、村内に支援の輪が広がり、燃料が不足している状況にもかかわらず、多くの人々から救援物資や義援金が届けられました。

また、国際友好都市提携先の中華民国鹿谷郷から、国内からは福島空港と伊丹空港が定期便で結ばれている縁で大阪府豊中市から、更に祖先が村出身という縁で北海道中標津にある民間企業をはじめとして国内外より多くの義援金や物資が村へ寄せられました。



【贈られた救援物資等】



● 学習支援

たまかわ文化体育館に避難している幼児・児童に対する学習支援を、村内教職員で行いました。

学習支援の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読み聞かせ ・ 軽い運動（縄跳びやソフトバレー、ランニング等） ・ 学習支援 等
---------	--

10. 災害見舞金の支給

このたびの東日本大震災に際し、村内外の個人、団体・企業のみなさまから生活に必要な様々な支援物資が届けられました。

さらに、海外からは玉川村と友好都市提携を締結している中華民国鹿谷郷、国内では祖先が北須釜出身という縁で、北海道中標津町の小針土建株式会社 小針武志さん（代表取締役）・小針弘さん（会長）、また村内企業の株式会社T B Kを始め、国内外の垣根を越えた48団体から17,165,515円という多額の義援金が寄せられました。（平成25年8月30日現在）

玉川村では、これらの寄せられた義援金等を活用して、東北地方太平洋沖地震で被災した方々の早期復興を図ることを目的として、災害見舞金を支給しています。

● 災害義援金寄付者

（敬称略・順不同 平成25年8月30日現在）

中華民国鹿谷郷	7,980,006円
埼玉県ときがわ町	500,000円
小針土建(株) 小針武志・小針弘	2,000,000円
福島空港ビル株式会社	500,000円
株式会社T B K	1,000,000円
大阪府豊中市	300,000円
全国町村議会議長会	300,000円
浦添市青少年健全育成市民会議等 及び浦添・福島県玉川村交流友の会	445,386円
東京書籍株式会社	500,000円
T B K O B 会	455,000円
福島県町村会	1,000,000円
その他（10個人・27団体）	2,185,125円
合 計 48件	17,154,417円

玉川村災害見舞金支給の特例に関する条例

(目的)

第1条 この条例は、平成23年3月11日発生の東北地方太平洋沖地震及びその後の余震により、玉川村に所在する居住のための敷地に存する建造物等が被災したことにより、それらを修繕又は撤去した所有者に対し、見舞金を支給し早期復興を図ることを目的とする。

(見舞金支給額)

第2条 見舞金は、別表の区分により支給する。

(見舞金支給の決定)

第3条 村長は、被害の状況等を調査し、その修繕及び撤去に要した費用額により見舞金の額を決定する。

(支給の制限)

第4条 対象者が次の各号の一に該当すると認めた場合は、見舞金等の支給は行わない。

- (1) 故意の行為によるとき。
- (2) 災害救助法（昭和22年法律第118号）の適用を受けたとき。

(見舞金等の返還)

第5条 村長は、既に見舞金等を受けた者が前条の各号の一に該当すると認めた場合は、その全部又は一部を返還させることができる。

(委任)

第6条 この条例の施行に関し、必要な事項は村長が別に定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

別 表

修繕等にかかる費用	支給額
100万円以上	20万円
50万円以上	10万円
20万円以上	5万円

●災害見舞金支給実績 (平成25年8月30日現在)

支給額	支給件数	計
5万円	82件	4,100,000円
10万円	89件	8,900,000円
20万円	148件	29,600,000円
合計	319件	42,600,000円

放射性物質への対応

●玉川村の取り組み

平成23年3月に起こった東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故により、村内にも大量の放射性物質が降り注ぎ、放射線量の測定当初は四辻新田地区、山小屋地区、北須釜地区などでは約0.4～0.5 μ Sv/hを観測しました。

空気中の放射線量の測定並びに飲料水（水道水）の放射性物質の測定を国が行い、いずれの測定結果も日常生活を送る上で問題ない数値で、原子力安全委員会が定めた「飲食物摂取制限に関する指標」の数値を大きく下回り、飲用等の使用についても問題ないとの検査結果が出されています。

しかし、当初、県内の野菜や牛乳から食品衛生上の暫定規制値を超える放射性物質が検出、国より農産物の出荷制限が指示され、村の基幹産品である農産物に大きな打撃を与え、風評被害を被りました。

測定当初よりも放射線量は下がってきているものの、健康への影響が心配され、特に小さな子どもは放射線量の影響を受けやすいと言われているため、やむなく県外に避難している家庭もあるなど、目に見えない放射能汚染により不安な生活を余儀なくされています。

中通りの南に位置する本村は、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故による放射性物質の土壌への沈着が主要な汚染となっており、標高の高い東部地区の放射線量が比較的高く、標高の低い西部地区は東部地区に比べると放射線量も低くなっています。

村内全域において、事故当初は放射性ヨウ素の汚染が大きな割合を占めていましたが、現在は放射性セシウムが主要な汚染原因となっています。

平成24年2月10日には内閣府「除染に関する緊急実施基本方針」に基づく除染計画「玉川村除染計画〈第1版〉」を策定、次いで平成24年7月13日に「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に基づく除染実施計画「玉川村除染実施計画〈第2版〉」を策定し、村を挙げて除染工事に着手しています。

小学校や中学校の校庭、保育所や幼稚園の園庭などの放射線量は、除染工事を実施したことにより、除染後の値が除染前の半分以下に減少するなど、校庭や園庭の安全度が増し、より安心して学べ遊べる環境となっています。

各教育施設等の除染工事により発生した汚染土壌などは、当時仮置き場がなかったためにそれぞれの施設の敷地内に埋設し保管していました。この除染工事については、平成24年3月の春休み期間中に施工しました。

このため、早急に仮置き場を設置することとし、村内全域から候補地を選定して地元説明会を開催しましたが、地下水や水源の問題などによりなかなか同意を得られませんでした。

そのような中、青井沢地内国有林が候補地として浮上し、平成24年12月青井沢地区住民に説明会を開催。同月住民の方々から建設についての同意を得たことにより、国有林を管理する関東森林管理局と協議を重ね、平成25年3月に許可が下りたためただちに着工、総工費約6,045万円をかけて同年7月に仮置き場が完成しました。

敷地面積4,683㎡の中に1号置場（不燃物）840㎡、2号置場（不燃物）251㎡、3号置場（可燃物）138㎡の3つに分かれており、各学校等に保管していた除染廃棄物（1tのフレコンバックで1,081袋）が搬入されました。

仮置き場に降った雨水については、最終的に千五沢ダムに流入するため、飲料水・農業用水への影響を懸念する声もあることから、村では週1回巡回と放射線量（空間線量）の計測のほか、月1回の地下水等の放射能検査を行うなど、適正な管理を行い、国が設置する中間貯蔵施設への搬出が完了するまでの間注意深く見守ってまいります。

【村内小中学校除染の様子】



【各教育関係施設敷地内保管の様子】



【完成した仮置き場の様子】



●教育関係施設の除染効果

※単位：μSv/h

施設名	除染前	除染後
川辺小学校	0.287	0.109
玉川第一小学校	0.256	0.093
須釜小学校	0.269	0.114
泉中学校	0.230	0.112
須釜中学校	0.257	0.117
いずみ幼稚園	表土替えなし、盛土のみ、現在 0.120	
すがま幼稚園・分舎	0.312	0.130
泉保育所	0.330	0.079

●除染工事費 47,229,000円

台風15号による被害

非常に強い台風15号が、平成23年9月21日夜、福島県を縦断し、未曾有の災害が村を襲いました。

村では、3月11日の東日本大震災により、中地区の阿武隈川の堤防に亀裂が発生し、県による早期の災害復旧が待たれる中、今回の台風15号により、増水した阿武隈川が氾濫し、22日午前1時30分頃堤防が決壊という未曾有の水害に見舞われました。

水が溢れた阿武隈川周辺の中・竜崎地区を中心に、浸水家屋108棟、農地や施設ハウスなどの冠水面積は95ヘクタールにもおよび、昭和61年の「8・5水害」を上回る甚大な被害となりました。

金波川では、21日午後8時頃から急激に河川が増水したため、午後8時30分、蒜生地区のアパートに住む12世帯43人に避難勧告を発令し、村就業改善センターに避難誘導を行いました。

阿武隈川では、台風15号の影響による降り続く雨で水位が上昇し、21日午後8時に玉城橋で6・60mを観測。堤防付近に住む竜崎（滝山）地区の4世帯11人に午後8時30分、避難勧告と避難誘導を行いました。午後9時20分には、堤防の高さまで達した水が中地区の堤防から溢れ始めたため、防災無線や地元消防団による地区住民へ警戒を呼びかけました。その後、水位が上昇を続けたため、午後11時に、阿武隈川周辺の小高・中・竜崎（糺屋）地区の19世帯84人に避難勧告を発令、地元消防ポンプ車のサイレンや団員が一軒一軒声かけするなどして避難するよう呼びかけました。

日付が変わった22日午前1時30分頃に堤防が決壊したため、防災無線や地元消防ポンプ車によるサイレン、団員による声かけなど避難誘導を続けましたが、4世帯9名が、浸水した家屋に取り残され、消防によるボートでの救助が明け方まで続きました。

1. 降水量

降り始めからの降水量	240.5 mm 9月19日(月) 午後4時～9月21日(水) 午後10時
24時間降水量	194.5 mm 9月20日(火) 午後10時～9月21日(水) 午後10時
1時間最大降水量	30.5 mm 9月21日(水) 午後9時～午後10時

2. 家屋の被害

●浸水家屋

(単位：棟)

	住宅棟数	非住宅棟数	合計
床上浸水	23	71	94
床下浸水	9	13	22
合計	32	84	116

3. 農地の被害

●農地冠水面積

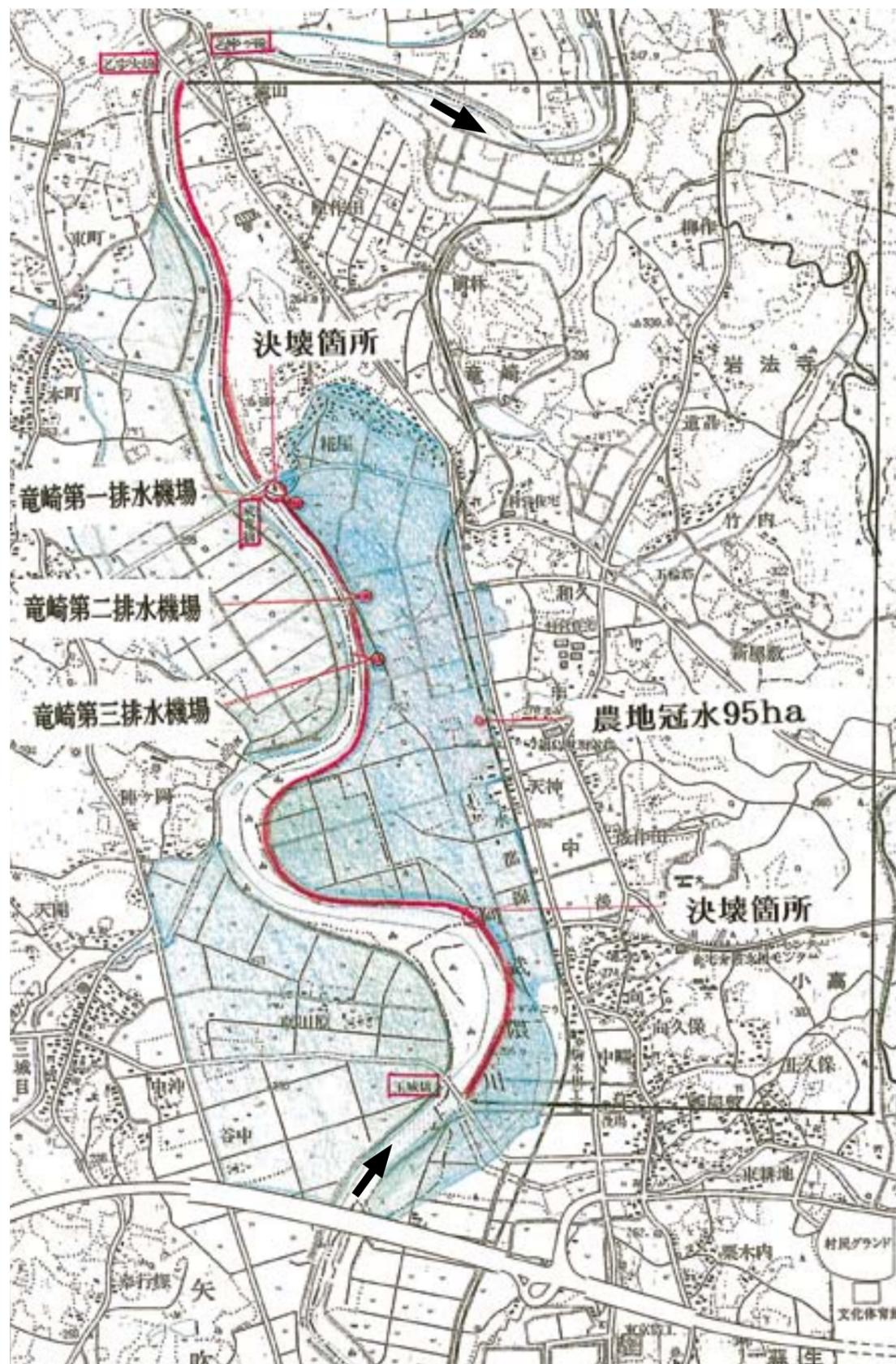
(単位：㎡)

	水田	畑	施設ハウス	合計
被害大	122,945	40,992	36,580	200,517
被害中	155,788			155,788
被害小	256,016	16,000		272,016
被害なし	326,645			326,645
計	861,394	56,992	36,580	954,966

●施設ハウス冠水

冠水被害 160棟

●台風15号による被害マップ



【9月22日 竜崎地区上空より】



【阿武隈川決壊箇所】 左：上流 右：下流



【農地への土砂流入】 中地内



【湛水防除事業】 竜崎第1排水機場



【小高字大谷地（村道）】



【小高字東耕地地内（村道）】



【施設ハウスの被害】 中地内



【南須釜字花見堂（農道）】



【川辺字堂平地内（頭首工）】



●早期復旧の要望書

外務大臣
玄葉光一郎様

玉川村
要望書

要望書



台風15号被災に伴う緊急要望
について

平成23年11月6日

玉川村長 石森 春男

本村では、3月11日の東日本大震災により阿武隈川の堤防に亀裂が発生し、早い災害復旧が待たれる中、9月21日の台風15号により、堤防の決壊という未曾有の大被害となり、床上浸水家屋は94棟と過去最大で、水稲をはじめハウス等の農業用施設等の倒壊や、冠水等甚大な被害をもたらしました。

つきましては、これら被災者が早期に日常生活に戻られるよう、各種支援施策とともに、国に対しても激甚災害指定の働きかけにつき特段のご配慮をいただきますよう要望いたします。

- 阿武隈川右岸（小高地区～竜崎地区）の整備促進について
今回 決壊箇所の復旧はもとより、玉城橋から下流乙字ヶ滝までの間、現在暫定高の堤防を完成高への整備について、早期に取組んでいただきたい。
- 湛水防除事業施設の復旧について
県営事業で設置した湛水防除施設が、被災したので早急に復旧をお願いしたい。
- 農業用施設の復旧について
ハウス等の農業用施設の助成制度の運用拡大を回り、農業者が復興に向けて立ち上げられるよう早急に、支援をお願いしたい。
- 農地等復旧について
農地等復旧のための農地災害復旧事業を早急をお願いしたい。

4. 学校等の被害

●被害と対応

須釜小学校	人的被害なし 物置の壁破損（平成24年4月16日修繕完了） 9月21日(水) 午後3時 放課後の活動を中止し、児童一斉下校
泉中学校	校舎に被害は特になし 生徒7名が道路冠水や床上浸水のため出席停止 9月21日(水) 午後5時30分 台風接近に伴い十分注意して下校するよう生徒に指導 9月22日(木) 午前7時20分 通学路の状況確認（竜崎地区の道路が一部冠水） 登校時交通安全指導 午前7時50分 出席停止の生徒に電話で被害状況の確認（担任）
須釜中学校	生徒・施設に被害なし 9月21日(水) 清掃なし 部活動中止 午後3時30分完全下校とする
いずみ幼稚園	9月22日(木) 阿武隈川堤防決壊 午前7時 竜崎のスクールバスについての連絡が入る 竜崎字糶屋・中字天神前 玄関まで浸水2名 床下浸水 2名 床上浸水 2名 1名就労センターに避難
すがま幼稚園	園児および家族・幼稚園舎に被害なし 9月21日(水) 大きな台風が来るかもしれないので外で遊ばないよう園児に指導

東日本大震災の記録〈福島県〉

※福島県災害対策本部発表（2012年2月20日現在）による

人的被害の状況

死者	1,936人
行方不明	55人
負傷者	182人
計	2,173人

住宅全体の被害状況

全壊	20,084戸
半壊	64,445戸
一部損壊	146,283戸
計	230,812戸

東日本大震災発災後20日間の記録（福島県）

日	時	主なできごと
3月11日	14:46	東北地方太平洋沖地震発生
	14:49	大津波警報発令
	16:47	知事より自衛隊へ災害派遣要請
	19:03	原子力緊急事態宣言
	20:00	福島空港24時間体制へ移行。
3月12日	11:50	応急危険度判定士派遣開始。
	12:50	小名浜港 施設状況調査着手。
	15:36	福島第一原子力発電所の1号機建屋で水素爆発が発生、建屋が損壊し、避難指示が半径20km圏内に拡大される。
	18:35	(株)プレハブ建築協会へ応急仮設住宅建設を要請。
3月13日	8:30	津波被災地域の道路啓開等に着手
	9:55	小名浜臨港道路の支障物除去に着手
	13:02	相馬港 施設状況の調査着手
	18:45	小名浜臨港道路の支障物除去完了
3月15日	9:00	あぶくま高原道路（福島空港IC－小野IC間）を緊急車両へ開放
3月16日	12:00	小名浜港 暫定部分供用
	17:00	相馬港 自衛隊へ応急復旧の支援要請
3月18日	7:00	小名浜港に「長崎丸」が入港（復旧後初）
3月19日		陸上自衛隊施設科部隊との連絡・調整体制を構築
3月20日		行方不明者捜索に伴い、県による湛水排除作業支援を決定（国交省の支援）
3月23日		応急仮設住宅（第1弾）着工
		被災者住宅入居相談窓口専用ダイヤルを設置
3月24日	6:00	あぶくま高原道路未供用区間を含め全線一般開放
		県による民間賃貸住宅の借り上げ制度の運用を開始
3月25日	7:30	相馬港に「海翔丸」が入港（復旧後初）
		陸上自衛隊、国交省、県が共同し、捜索予定箇所の湛水排除作業に着手
3月28日	8:30	県管理道路の本復旧に一部着手

東日本大震災の記録〈全国〉

※緊急災害対策本部発表（2012年1月29日現在）による

人的被害の状況

死者	15,880人
行方不明	2,700人
負傷者	6,132人
計	24,712人

住宅全体の被害状況

全壊	128,914戸
半壊	268,897戸
一部損壊	733,792戸
計	1,131,603戸

被災者支援の状況

避難者数	全国の避難者数 316,353名 ※避難所の他、親戚、知人宅や公営住宅、仮設住宅等への入居者も含む
仮設住宅の状況	応急仮設住宅の着工戸数 53,537戸着工済（うち53,259戸完成）
救助活動状況	救出等総数 27,157名

東日本大震災発災後20日間の記録（政府）

日	時	主なできごと
3月11日	14:46	東北地方太平洋沖地震発生
	14:49	大津波警報発令
	14:50	官邸対策室設置、緊急参集チーム招集
	15:14	緊急災害対策本部設置
3月12日	9:18	政府調査団を福島県に向け派遣
		閣議により「東北地方太平洋沖地震による災害」について全国を対象とする激甚災害に指定
		外務省 39ヶ国・地域から支援申し入れあり、数カ国に対し救助犬を含むレスキューチーム派遣を要請
3月13日	19:49	総理大臣メッセージ
	21:38	電力需給対策本部会議の開催
3月14日		閣議により被災地域に対する物資支援について予備費の使用を決定（総額：約302億円）
		国交省大臣より（社）住宅生産団体連合会に対し、概ね2カ月で少なくとも3万戸の応急仮設住宅を供給できるよう要請。
3月15日		警察庁 身元確認できない遺体について、DNA鑑定資料や指紋等必要最低限の資料を採取の上、検視等の迅速化を図るよう全国警察へ通達
3月16日		閣議により「災害対策基本法施行令の一部を改正する政令」を制定し、地方債発行の特例措置を実施
3月18日		金融庁 「義援金等を装った詐欺にご注意!」を公表
4月1日		3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による災害及びこれに伴う原子力発電所事故による災害については、今後、「東日本大震災」と呼称することとする

平成23年 玉川村の災害記録

3月11日 東日本大震災

9月21・22日 台風15号災

平成25年9月発行 福島県石川郡玉川村